【正答】

令和六年度

学力検査問題【国語】

・検査の時間は四十分です。
・答えは、解答欄に書きなさい。
・受検番号、氏名を下に記入しなさい。

点／５０点

受検番号	
氏　　名	

1

——のひらがなは漢字に、漢字はひらがなに直しなさい。必要な場合は、送りがなもつけること。

① にゅうがくしきの朝。 → 入学式

② マナーをまもる。 → 守る

③ やさいを育てる。 → 野菜

④ 感想文を書く。 → かんそうぶん

⑤ 体調が良い。 → たいちょう

⑥ 図書館へ行く。 → としょかん

2

ローマ字で書かれた言葉をひらがなに直しなさい。

例　t o b i b a k o → とびばこ

① K u m a m o t o → くまもと

② z i k k e n → じっけん

③ h a p p a → はっぱ

3

正しい送りがなを書きなさい。□には、ひらがな一文字が入ります。

① ・算数の問題が分［か］る。
　・ケーキを四つに分［け］る。

② ・お昼のチャイムが鳴［る］。
　・平和のかねを鳴［ら］す。

③ ・顔を前に向［け］る。
　・あの山の向［こ］う。

④ ・少［し］だけ、塩を入れる。
　・晴れの日が少［な］い。

4

次の文の□の中にあてはまる言葉を、【意味】に合うように後の〔　〕から一つ選び、□に書きなさい。□の中にすべてちがう言葉が入ります。

① 気が□はやい
【意味】何かと先を急ぐ、せっかちである。

② 気が□きく
【意味】細かいところに注意が行き届く。

③ 気が□ちる
【意味】一つのことに集中できない。

④ 気が□ながい
【意味】のんびりしていて、いらいらしない。

⑤ 気が□よわい
【意味】自信が持てず、消極的である。

〔　ちる　はやい　きく　ながい　つよい　よわい　〕

5

次の文の□の中に最もあてはまる語を、後の〔　〕から一つ選び、□に書きなさい。□の中にはすべてちがう語が入ります。

鳥は空をとぶため□に①、ほねの数□や②形などをかえました。ペンギン□の③ほねも、ほかの鳥□と④同じ仕組みです。ペンギンは海にもぐるために、体□が⑤重くなっていることを□を⑥知っておどろきました。

〔　に　を　の　や　が　と　〕

（出典：東京書籍「新しい国語三　下」）

6 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

水道水は、主に山に降った雨や雪から作られています。

山に降った雨や雪は、川に流れていきます。

川の水をくみ取って、パイプを通して浄水場まで送り、浄水場で水道水を作っているのです。

浄水場の中には、着水井、ちんでん池、ろ過池や消毒を行う施設などがあります。

浄水場に送られてきた水は、最初は着水井に届きます。着水井では、活性炭を使って、水からにおいを取り除きます。においを取り除かれた水は、次にちんでん池に送られます。

ちんでん池では、水に薬品を混ぜます。薬品は、水の中の大きな汚れとくっついて、ちんでん池の底にしずむようになっています。大きな汚れが取り除かれた水は、今度はろ過池に送られます。

ろ過池では、水を砂の中に通します。

砂の中に通すことで、ちんでん池で取り除けなかった小さな汚れを取り除くことができます。

最後は、消毒を行う施設で、塩素を入れて消毒します。これでようやく水道水が完成します。

出来あがった水道水は、配水管を通してみなさんの所に送られていきます。

①浄水場の職員の方々は、交代をしながら、毎日二十四時間、一秒も休まずに働いています。水道水がきちんと作られているかどうか、機器をかん視するためだそうです。

私たちの所に②水道水が届くまでには、たくさんの工程があることが分かりました。

（出典：文部科学省　国語）

問1　①＿＿について、浄水場の職員の方々は、交代をしながら、毎日一秒も休まずに働いています。それはなぜですか。次のア～エの中から一つ選び、記号に○をつけなさい。

ア　失敗できないため
(イ)　機器をかん視するため
ウ　仕事が忙しいため
エ　眠れないため

問2　水道水は主に何から作られていますか。文中の言葉を使って書きなさい。

主に

山
に
降
っ
た
雨
や
雪

から作られる。

問3　②＿＿について次の（1）～（5）は、水道水ができるまでの工程とその内容を表しています。それぞれの工程の内容の□に当てはまる語句を、次のア～オの中から一つ選び、□に記号を書きなさい。

（1）着水井・・・活性炭を使って水から［オ］を取り除く。
←
（2）ちんでん池・・・水に薬品を混ぜ、［ウ］をおとす。
←
（3）ろ過池・・・水を［イ］に通し［ア］を取り除く。
←
（4）消毒・・・［エ］を入れる。
←
（5）配水管を通ってみなさんの所へ送られる。

ア　小さな汚れ　　イ　砂の中　　ウ　大きな汚れ
エ　塩素　　オ　におい

7

次の文章は、電子メールを使うときに注意することが書かれています。よく読んで、後の問に答えなさい。

○電子メールを使うときには、次のことに注意しましょう。

① アドレスは、電子メールのあて先。間違(まちが)えないように書きこむ。

② 相手の名前を正しく書く。

③ 差出人（自分の名前）を入れる。

④ あいさつをきちんと書く。

⑤ 用事のある人だけに送る。電子メールは、一度にたくさんの人に送ることができるが、不必要なじょうほうは、相手にめいわくになる。

⑥ 一度にたくさんのじょうほうを送らない。絵や写真をそえて送ることもできるが、受け取る人がこまることもある。

⑦ 小さな画面でも読みやすいようにする。電子メールを読む画面は、機器によって大きさがちがうので、次のようなことに気をつける。

（ア）文は短めにする

（イ）必要なところは、漢字に直す

（ウ）点や丸をきちんと打つ

（エ）だんらくを分ける

⑧ あやしい電子メールに注意する。心あたりのない電子メールはぜったいに開かない。

（出典：教育出版「小学国語四　上）※一部修正

問1 電子メールのあて先のことを別の言葉では何と言いますか。文中の言葉を使って書きなさい。

アドレス

問2 電子メールにそえて送ることができるものは何ですか。文中の言葉を使って書きなさい。

絵 や 写真

問3 小さな画面でも見やすいようにする工夫について、正しくないものを次のア～エの中から一つ選び、記号に○をつけなさい。

ア 文は短めにする

イ 必要なところは、漢字に直す

ウ 点や丸をきちんと打つ

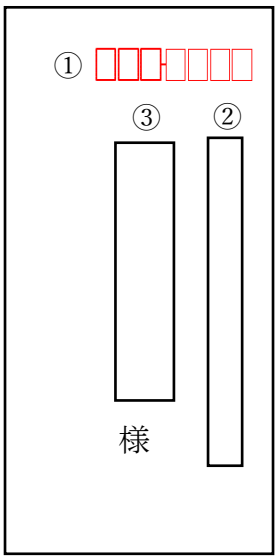
エ だんらくを分けない

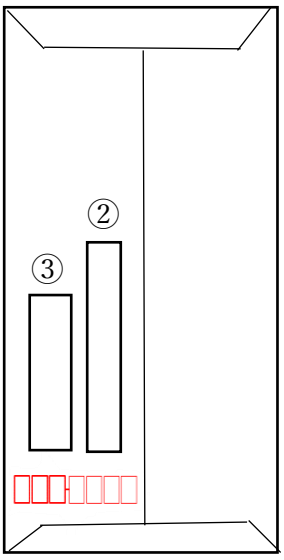
問4　ぜったいに開かない電子メールとは、どのようなものですか。文中の言葉を使って、マスに合わせて書きなさい。

心	あ	た	り	の	な	い

電子メール

8　左のふうとうを参考にし、次の文章の①から⑤の（　）に入る言葉を□から一つ選び、記号を書きなさい。





ふうとうの場合、七つ並(なら)んだ四角の枠(わく)には（　①　）、中央より右に相手の（　②　）を1～2行で書き、中央には相手の（　③　）を（　②　）よりやや（　④　）に書きます。

たてがきで数字を書くときは（　⑤　）で書きます。また、うしろにはふうとうの中心から左側に自分の（　②　）と（　③　）を書きます。

これがふうとうの書き方です。

（出典：「手紙の書き方」JP郵便局）

ア　氏名
イ　電話番号
ウ　郵便(ゆう)番号
エ　住所
オ　大きめ
カ　小さめ
キ　漢数字
ク　ローマ数字

①	②	③	④	⑤
ウ	エ	ア	オ	キ

【問題はこれで終わりです】